

## 平成29年度 明日を拓く「未来創造チャレンジ」募集要項

### 1. 実施の目的

**「未来創造チャレンジ」は、学生の皆さんが何か新しいことにチャレンジするのを支援するための経済的な支援プログラムです。**皆さんが自主的にさまざまなプロジェクトを企画し、主体的・能動的に取り組む過程を通して、何事にも挑戦する気持ちを育むとともに、社会性や協調性を養うことを目的としています。未来創造チャレンジで応援したい活動は以下のようなものです。

- ① 未来を創造する意思が感じられるようなさまざまなプロジェクト
- ② 地域社会に貢献できるようなプロジェクト
- ③ 社会実装の取り組み（「社会実装」とは社会問題解決のために科学技術を応用すること
- ④ 学生の主体的で能動的な学習や研究（アクティブ・ラーニング）
- ⑤ 各種コンテストへのチャレンジ
- ⑥ 海外へのチャレンジ

是非、未来創造チャレンジに応募して下さい。企画を考えるのも申請するのも学生の皆さんです。皆さんが主体となって企画を考え、指導教員1名をお願いし、応募してください。採択されたものについては、その活動費の全部または一部を教育研究・国際交流支援基金より助成することを予定しています。ふるってご応募ください。

### 2. 対象とする分野

「未来創造チャレンジ」の支援対象は、次のいずれかに該当するプロジェクトです。

- ◎ 高専の特徴を活かした活動（例：各種コンテストへの参加など）
- ◎ 地域社会への貢献（例：工作物製作の技術支援など）やボランティア活動など
- ◎ 国際的な視野に立って社会貢献に取り組む企画（海外研修・派遣含む）
- ◎ 社会実装の取り組み
- ◎ 学生の主体的で能動的な研究（卒業研究は除く）

### 3. 応募上の注意

- (1) 学生の学会参加費用援助については、海外での学会に限り応募可能です。
- (2) 学生の国内学会参加で賞を受賞した場合は、事後の応募が可能です。
- (3) 課外活動や教務関係については、後援会費支給基準適用外に限り応募可能です。適用外とは、「各種大会、練習試合、合宿、学生会活動などにかかる費用」以外という意味です。
- (4) 全国大会に出場する学生（登録選手）で、授業料免除を受けている場合など旅費の工面が極めて困難な場合に限り、旅費の一部援助について応募が可能です。
- (5) 単純に研究（卒業研究、特別研究）での支援については応募を認めません。ただし、卒業研究・特別研究とは別の、学生の自由な研究については応募できます。
- (6) 高専祭企画の支援は行いません。
- (7) 応募条件は原則、上記の通りとしますが、各種コンテストに挑戦する企画や社会実装・地域貢献に関わる企画については、例外として認める場合があります。応募可能かどうかよくわからない場合は、一度、学生主事までお問い合わせください。

#### 4. 助成額

- (1) 助成は原則 **1件につき上限10万円以内**とします。
- (2) すべての応募において申請額が満額で認められるとは限りませんので注意して下さい。

#### 5. 応募資格

応募するプロジェクトは、次の項目すべてに該当することとします。

- ◎ 本校の学生が複数名おり、本校の学生が中心となって主体的に活動していること。
- ◎ 指導者として本校の教職員がいること。（**指導教員が1名**いれば大丈夫です。指導教員が見つからない場合は学生主事までご相談ください。）

#### 6. 応募要領

##### ●募集期間

**1次募集：4月～6月（6月末応募締切）、2次募集：11月～1月（1月末応募締切）**

##### ●応募方法

学生支援係で「応募用紙」（表面が「活動計画書」、裏面が「活動内容」）を受け取り、必要事項をすべて記入し、締切日までに提出してください。**提出先は学生支援係**です。

（応募用紙への記入法の詳細は募集要項の最後にありますので、そちらをご覧ください。）

#### 7. 選考基準

原則として、新たなチャレンジや、あるいは長期プロジェクトにおいて新規の内容を追加しようとするものを選びます。また、本校の名を高めるようなチャレンジを優先します。

なお、同一プロジェクト（同一大会への参加など）での複数応募は、1件の応募にまとめてもらう場合があります。ただし、新たなチャレンジ要素があると判断した場合には最大3回まで別々の応募として助成を認める場合があります。

#### 8. 成果報告

採択されたプロジェクトは、**年度末に開く「未来創造チャレンジ報告会」にてその成果を報告していただきます。**「未来創造チャレンジ報告会」の開催時期等については、指導教員を通して連絡しますので、各プロジェクトの構成員は発表の準備をしておいてください。なお、海外研修に関わるプロジェクトについては「高専祭」の企画として報告会を開き、発表することもできます。いずれにせよ、採択されたすべてのプロジェクトに活動報告の義務があります。

#### 9. その他

- 活動期間中に、活動内容・構成員・指導教員を変更した場合、その理由も含め、学生支援係に報告してください。変更理由が明確でない時は、助成を取り消すことがあります。
- 「未来創造チャレンジ」で**購入した物品は**、学校の予算で購入した学校の所有物となりますので、企画の終了後に、**学校に返還**して頂くことになります。
- 現金が支給されることはありません。物品購入は学生支援係を通して行っていただきます。旅費等については、領収書等を確認した後、銀行振り込みなどにより支払われます。

問い合わせ先（応募用紙受取・提出先）：学生支援係

※ 応募用紙への記入方法

(1) 活動計画書（表）

- ① 「概要」欄には、＜プロジェクトの目的＞と＜プロジェクト全体の活動計画・方法＞について、要約して記載してください。各種コンテスト、イベント、大会、ボランティア活動等に参加する場合には、その事項を具体的に明記し、その大会の要項・概要などを活動計画書と一緒に提出してください。
- ② 「要求額内訳」欄には、＜プロジェクト全体の予算見積＞（2年以上のプロジェクトの場合は年度毎に記載すること）を具体的に記入してください。概要と要求額内訳において、より詳細な説明が必要な場合や記入欄が不足する場合は、別紙を添付しても構いません。

(2) 活動内容（裏）

- ① 「活動の目的」欄には、活動に至った経緯、活動することの意義、得られる成果、実施した内容を活動終了後にどのように活かすと考えているか、などについて記載してください。
- ② 「具体的な活動計画・方法」欄には、具体的な活動計画・方法について、スケジュールも含めて明示してください。図表を用いてもかまいません。